

セルジオ越後氏 講演会（2018年11月14日、公邸）

●本日、セルジオ越後氏の講演会に参加いただきありがとうございます。また、矢菅 治彦（やすが・はるひこ）ベトナム・ジャパンガス社長はじめ、講演会実現にご尽力いただいた全ての関係者の皆様にお礼を申し上げるとともに、一言挨拶をさせていただきます。セルジオには、いつも通り「セルジオ」と呼ばせて頂きます。

●私自身はセルジオに20年以上にわたり様々な形で助けられています。1990年代初め、私が千葉の少年サッカー・チームのコーチをしていた頃、セルジオは2度千葉に来て、子供たちを指導いただきました。

●また、FIFA ワールドカップ・ブラジル大会の1-2年前にセルジオと友人の平野氏（電通）から、ブラジル大会の際は、日本大使としてブラジルで日本代表チームを支えたら良いと言われました。そのことは、正に現実となり、私はワールド・カップの2か月前にブラジルに着任しました。そして、セルジオとは、2014年6月日本代表の第二戦（対ギリシャ）の直前、ホテルで食事を共にしました。また、2014年8月、首都ブラジリアにおいて安倍総理を迎え、日本サッカーの発展に貢献した「ブラジル選手に感謝する会」を主催した際、ジーコ、ドウंगा、アルシンド、ビスマルク等と共

にセルジオも参加されました。2016年、リオ・オリンピック・パラリンピックの際、セルジオ自身はブラジルにはこられなかったですが、オリンピック日本代表チームは、練習試合も含めブラジル国内5都市で試合をしました。全ての地で応援と治安対策に日系人の方々の全面的協力を頂きました。

●2年前の11月、ベトナムに赴任してきた際、サッカー分野で日越交流を深めることが出来るとは期待しておりませんでした。

●ところが、今年1月、アジア選手権大会でU23男子代表チームの躍進を国全体が一つになって応援する姿、準優勝したチームを国全体で熱狂的に迎える姿を目の当たりにし、サッカー分野での日越交流に少しでも役立ちたいと思うようになりました。

●その後、大使館では、ベトナム女子代表チームの美作合宿壮行会、U17男子サッカー代表チームの日・メコンサッカー大会出場（福島で開催）壮行会を開催しました。壮行会では、ベトナム・ジャパンガス社、味の素ベトナム社、川崎フロンターレ、三菱重工から、高性能水筒サーモス、アミノ・バイタル、ブレンディ、ボールペンなどを選手に寄贈いただきました。

●更に、ジュニア選手育成という観点から、トヨタ・ジュニア・カップ、浦和レッズ・ハートフル・サッカー、セレッソ大阪のドリー

ムプロジェクト、川崎フロンターレの国際ユースカップが行われています。

●ベトナム・サッカーの発展に直接貢献されている日本人もおられます。女子サッカー・ハノイ1の八木秀一（やぎ・ひでかず）監督、サッカー教室ルーベン・アカデミーの井上寛太（いのうえ・かんと）代表、フットボール・ダイジェストの宇佐美淳（うさみ・じゅん）さん、日本サッカー協会国際委員の後藤田武（ごとうだ・たけし）電通ベトナム社長です。本日は、井上ルーベン・アカデミー代表が出席されています。

●先月、東京で開催された日ベトナム首脳会議後、安倍総理とフック首相が見守る中、「サッカー協会間」の覚書が署名されました。ベトナム・サッカーは男女ともに着実に強くなっています。私は、2020年東京オリンピック、2022年、26年のワールド・カップを念頭に置きつつ、サッカーでの日越協力を少しでも強化したいと考えています。そして、ベトナム・サッカーが世界の舞台で活躍する日が来ることを期待しています。

●セルジオからは、これまでも会うたびに多くのことを教えて貰っていますが、今日の講演からも示唆を得て、次のステップに繋がりたいと考えています。

●本日参加いただいている皆様には、引き続き日越サッカー交流強化にたいする理解とご協力をお願い申し上げ、私の挨拶と致します。有難うございました。(了)